

今年も一年安全運転に努めましょう

松江市交通安全協会

会報

2022. 1

Vol. 67



【発行所】
一般社団法人松江市交通安全協会
松江市袖師町5-10(松江警察署内)
TEL24-8782(FAX兼用)

松江市安協



新春を迎えて

(一社) 松江市交通安全協会

会長 三島 進



新年あけましておめでとうございます。皆様には、ご家族様お揃いで穏やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年中は、交通安全活動の各般にわたり温かいご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年も、新型コロナウイルスの影響により、当協会が取り組む諸施策の大半が中止又は、延期となり、交通事故防止活動は、十分とは言えない状況でありました。そうした中であって松江市内における交通事故の発生状況を見ても、昨年と比べて死亡事故は減少したものの、交通事故発生件数・負傷者数ともに、増加し、予断を許さない状況にあり、今後とも、交通安全諸対策について手を緩めることなく、地道に取り組んで行くことが重要であると思わ

れます。とりわけ、交通事故死者全体に占める高齢者の割合が、ここ数年高止まりしており、超高齢化社会を迎える中、高齢者の交通事故防止対策は、喫緊の課題であります。

このような交通情勢を踏まえ、当協会と致しましては、協会設立の趣旨に則り、本年も松江警察署をはじめ松江市等関係機関・団体及び松江市29地区・職域交通安全協会等と連携しながら、飲酒運転の根絶はもとより、反射材着用の推進、高齢者の心に響く参加・体験型交通安全教育等の実施などにより、交通事故防止対策を強力に推進してまいり所存であります。皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして交通事故のない明るく良い年でありますように、そして、ご家族皆様のご健勝・ご多幸を祈念申し上げます。新年の挨拶と致します。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

賞誉に輝く

交通安全国民運動中央大会において次の方が表彰されます。おめでとうございます。

警察庁長官・
全日本交通安全協会会長連名表彰
交通栄誉章緑十字銀章 優良運転者
法吉地区交通安全協会 長 曳野 征夫 様



「飲酒運転根絶作戦」実施中

～飲んだら乗らない 乗るなら飲まない
乗るなら飲ませない～

12月1日から1月31日までの
2ヶ月間

飲酒運転を一掃するため、全29地区を上げて現在実施中です。当協会では、飲酒運転根絶のための啓発チラシを5,000枚作成し、各地区に配布し活用しています。



第37回 無事故・無違反推進月間の実施結果について

令和3年8月1日から9月30日までの2ヶ月間、松江市内の29地区交通安全協会対抗の無事故・無違反推進月間が、A B両グループに分かれ実施されました。

その結果、施策優良地区は次のとおりでした。

Aグループ (人口6,000人以上)

- 第1位 乃木地区交通安全協会 乃木地区交通安全対策協議会
- 第2位 鹿島地区交通安全協会 鹿島地区交通安全対策協議会
- 第3位 竹矢地区交通安全協会 竹矢地区交通安全対策協議会
- 努力賞 古志原地区交通安全協会 古志原地区交通安全対策協議会
- 努力賞 大庭地区交通安全協会 大庭地区交通安全対策協議会

Bグループ (人口6,000人未満)

- 第1位 生馬地区交通安全協会 生馬地区交通安全対策協議会
- 第2位 島根地区交通安全協会 島根地区交通安全対策協議会
- 第3位 持田地区交通安全協会 持田地区交通安全対策協議会
- 努力賞 美保関地区交通安全協会 美保関地区交通安全対策協議会
- 努力賞 忌部地区交通安全協会 忌部地区交通安全対策協議会





交通安全諸活動紹介



交通遺児に対する激励金贈呈式

2月9日(火)カナツ技建工業株式会社グループ様から交通遺児に対する激励金の贈呈を受けました。当協会に対する激励金の贈呈は今回で22回目となります。

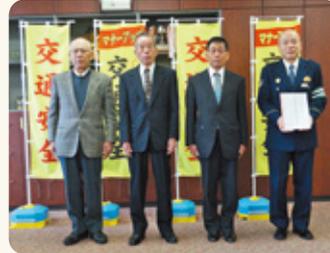


飲酒運転根絶署名簿の提出

生馬地区交通安全対策協議会及び津田地区交通安全協会では、地区を挙げて飲酒運転根絶署名に取り組み

生馬地区 2月9日(火) 津田地区 2月17日(水)

それぞれ松江警察署長に署名簿を提出しました。提出にあたり両地区の会長さんは、地区内から飲酒運転を一掃する旨、力強く宣誓されました。



生馬地区



津田地区

新入学(園)児童に交通安全用品を贈呈

3月26日(金)、松江市教育委員会において、新入学・入園児に対して交通安全用品を贈呈しました。この贈呈は、今回で34回目となりました。



春の全国交通安全運動に伴う一斉街頭PR活動の実施

4月6日(火)春の全国交通安全運動 初日に「くまのぼり」周辺において一斉街頭PR活動を実施し、通勤・通学者に、交通ルールの遵守とマナーの向上を呼びかけました。



はつらつモデル地区指定式と高齢者交通安全講習会の開催

高齢者の交通事故防止について地域が主体となって取り組む令和3年度「はつらつモデル地区」に大庭地区を指定し、4月7日(水)「指定式」を開催しました。指定式に続いて「高齢者交通安全講習会」を開催し、紙芝居などで交通事故防止を訴えました。



チャイルドシートモデル幼稚園の委嘱

チャイルドシートの着用推進を図るため、4月9日(金)、松江市幼稚園白鳥クラブ連合会に加盟する大庭幼稚園と忌部幼稚園の2幼稚園を「チャイルドシートモデル幼稚園」に委嘱し、当協会からチャイルドシートを贈呈しました。



自転車マナーアップモデル校及び自転車安全リーダーの委嘱

学校全体で正しい交通ルールの周知とマナーの向上を目的に4月16日(金)松江市立義務教育学校玉湯学園を「自転車マナーアップモデル校」及び「自転車安全リーダー」に委嘱し、交通事故防止を誓いました。



令和3年度交通安全高齢者の主張松江地区大会の開催

高齢者の交通事故防止を図るため、10月8日(金)松江警察署会議室において「令和3年度交通安全高齢者の主張松江地区大会」を開催しました。参加者は、自らの体験や平素考えていることなどを訴え、交通安全意識の高揚を図りました。優秀賞には、川津地区の佐藤勇人さんと古江地区の金田直樹さんが選ばれ、松江地区代表として県大会に出場し、県大会では、佐藤さんが最優秀賞、金田さんが優秀賞を獲得しました。



交通安全募金の贈呈式

7月14日(水)島根県トラック協会松江支部様から交通遺児に対する激励や交通安全活動に役立てて欲しいとの思いから募金の贈呈を受けました。当協会に対する募金の贈呈は今回で7回目となります。



ポスターコンクール入賞作品

(一財) 島根県交通安全協会主催による恒例のコンクールに、松江市内の小中学校から52点のご応募があり、審査の結果、5点の作品が入賞(当協会分)しました。
今回、受賞したポスター5点についてご紹介します。

島根県交通安全協会長賞



松江市立権屋小学校 4年 田中 瑛さん

山陰中央新報社長賞



松江市立権屋小学校 4年 森田陽向さん

島根県警察本部長賞



松江市立出雲郷小学校 3年 玉井杏俐さん



松江市立第四中学校 1年 錦織秀樹さん



松江市立出雲郷小学校 1年 荒瀬もあさん

各地区の活動

皆さんからいただいた会費はさまざまな交通安全活動に使われています



収支決算・収支予算報告

令和2年度 収支決算（総括表）

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで（単位：円）

科 目	一般会計	特別会計	合 計
【収入の部】			
会 費 収 入	30,757,000	0	30,757,000
補助金等収入	175,000	0	175,000
寄付金収入	284,639	0	284,639
委託料収入	0	3,100,000	3,100,000
事業収入	0	1,552,386	1,552,386
売上収入	0	3,533,525	3,533,525
手数料収入	0	36,000	36,000
雑 収 入	175,499	1	175,500
当期収入合計	31,392,138	8,221,912	39,614,050
【支出の部】			
事 業 費	21,953,437	5,153,611	27,107,048
管 理 費	7,633,236	0	7,633,236
繰入金支出	0	0	0
売上原価（仕入）	0	2,989,381	2,989,381
事業活動支出計	29,586,673	8,142,992	37,729,665
事業活動収支差額	1,805,465	78,920	1,884,385
特定預金取崩収入	0	0	0
活動収入計	0	0	0
固定資産取得支出	0	0	0
特定預金支出	1,507,915	0	1,507,915
活動支出計	1,507,915	0	1,507,915
活動収支差額	△1,507,915	0	△1,507,915
当期収支差額	297,550	78,920	376,470
前期繰越収支差額	3,250,800	△2,155,291	1,095,509
次期繰越収支差額	3,548,350	△2,076,371	1,471,979

令和3年度 収支予算（総括表）

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで（単位：円）

科 目	一般会計	特別会計	合 計
【収入の部】			
会 費 収 入	29,600,000	0	29,600,000
補助金等収入	170,000	0	170,000
寄付金収入	250,000	0	250,000
委託料収入	0	3,150,000	3,150,000
事業収入	0	1,550,000	1,550,000
売上収入	0	3,100,000	3,100,000
手数料収入	200,000	40,000	240,000
雑 収 益	500	0	500
当期収入合計	30,220,500	7,840,000	38,060,500
【支出の部】			
事 業 費	24,295,000	3,563,629	27,858,629
管 理 費	8,373,850	0	8,373,850
売上原価（仕入）	0	2,200,000	2,200,000
事業活動支出計	32,668,850	5,763,629	38,432,479
事業活動収支差額	△2,448,350	2,076,371	△371,979
特定預金取崩収入	0	0	0
活動収入計	0	0	0
固定資産取得支出	0	0	0
特定預金支出	1,100,000	0	1,100,000
活動支出計	1,100,000	0	1,100,000
活動収支差額	△1,100,000	0	△1,100,000
当期収支差額	△3,548,350	2,076,371	△1,471,979
前期繰越収支差額	3,548,350	△2,076,371	1,471,979
次期繰越収支差額	0	0	0

入会金のお願いと特典制度

（一社）松江市交通安全協会は、自動車を運転される皆様と、事業所等で車両を使用し協会の活動・趣旨に賛同いただいた皆様のご協力により運営しています。ご協力いただいた方の会費は、悲惨な交通事故を一件でも減らすための経費として活用させていただいております。また、加入された会員様の特典もありますので、是非ご利用ください。

協会年会費 600 円（3 年分 1,800 円、4 年分 2,400 円、5 年分 3,000 円です。）

年会費 600 円

約 200 円

- 各支部による活動助成
- 立て看板、幟旗、広報紙の作成
- 自転車、二輪車安全指導
- 子供、高齢者の交通指導
- 児童への安全用品の配布
- 横断旗の配布など

約 400 円

- 会報の作成
- チラシ・ポスター作製
- 優良運転者表彰
- 高齢者、児童・生徒の安全教育
- 貸出し用チャイルドシート購入
- 交通安全大会、自転車大会など

『島根県交通安全協会ホームページに
島根県内の協賛店ガイド一覧が掲載されています。』

①交通安全協賛店での特典

協賛店の加盟店は、現在、県内で約600店、松江市で約300店です。会員証を提示し、割引等の特典が受けられます。

②チャイルドシートの貸し出し

（返却時に別途クリーニング代がかかります。）

予約制により、運転免許証の有効期間中、最長6か月間、新生児から6歳までの子どもさんを対象にチャイルドシート、ジュニアシートの貸し出しをしています。台数に限りがありますので、ご希望にそえない場合があります。

③交通傷害見舞金制度

会員の方が、不幸にして交通事故の被害にあわれ31日以上入院された場合など、見舞金を支給いたします。

※詳細については松江市交通安全協会事務局
（電話24-8782）まで、お問い合わせください。

